

科目区分	専門教育科目	授業科目名	発達心理学 I			科目コード	26Y305	担当者	小槻 智彰			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	教育の基礎的理解に関する科目
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、生涯にわたる心身の発達について授業を行う。								科目に含めることが必要な事項	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	

授業の主題	保育者・教育者として子どもに関わる際に必要な人間の発達に関する基礎的事項について学ぶ。胎児期・乳児期・幼児期の発達の特徴を理解し、保育・教育実践との関わりについて考える。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。小テストの解答の解説を授業内に行う。
授業の方法	パワーポイントスライドと映像資料を使用した講義形式を基本とし、教員が作成した授業資料を配布する。受講生は各授業の最後にミニッツペーパーを提出する。2回目以降の授業では最初に小テストを実施する。一部の回ではICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら進める。	アクティブ・ラーニングの実施方法	発達と保育・教育の関係を考えるために、一部の授業回において受講生は事例の検討を行い、その内容に基づいてグループディスカッションを行う。授業内容の振り返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	発達とは：発達を理解することの意味	事前：過去を振り返り「発達とは何か」について自分の考えをまとめる。 事後：保育者・教育者として発達を理解することの意味について考えをまとめる。	
第2回	発達の基礎：遺伝と環境、発達理論／胎児期・周産期の発達の特徴	事前：胎児期・周産期に関する用語について調べる。 事後：遺伝と環境、発達理論／胎児期・周産期の発達の特徴についての要点をまとめる。	
第3回	乳児期の発達の特徴：運動・認知・言語・社会性の発達	事前：自分や身近な人の乳児期の運動・認知・言語・社会性についてまとめる。 事後：乳児期の発達の特徴についての要点をまとめる。	
第4回	幼児期の発達の特徴（1）：幼児期前半の運動・認知・言語・社会性の発達	事前：自分や身近な人の幼児期前半の運動・認知・言語・社会性についてまとめる。 事後：幼児期前半の発達の特徴についての要点をまとめる。	
第5回	幼児期の発達の特徴（2）：幼児期後半の運動・認知・言語・社会性の発達	事前：自分や身近な人の幼児期後半の運動・認知・言語・社会性についてまとめる。 事後：幼児期後半の発達の特徴についての要点をまとめる。	
第6回	発達と保育実践（1）：0歳児から2歳児	事前：事例を検討し、発達と保育実践の関係について自分の考えをまとめる。 事後：0-2歳児の発達と保育実践について要点をまとめる。	
第7回	発達と保育実践（2）：3歳児から5歳児	事前：事例を検討し、発達と保育実践の関係について自分の考えをまとめる。 事後：3-5歳児の発達と保育実践について要点をまとめる。	
第8回	保育と発達	事前：保育と発達の関係について自分の考えをまとめる。 事後：保育と発達の関係についての要点をまとめる。	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房	受講生へのメッセージ	人間は生涯にわたって発達していきます。子どもの発達をふまえた保育・教育を実践することができるように、胎児期から幼児期までの発達の特徴に関する知識を身に付けましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	幼稚園教育要領/文部科学省、幼稚園教育要領解説/文部科学省、保育所保育指針/厚生労働省、保育所保育指針解説/厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/内閣府・文部科学省・厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説/内閣府・文部科学省・厚生労働省		

